



大切なのは **ひと、自然、平和**



まつざき

松崎 ゆり子

大野城市議会議員 議会便り「ゆりネット」 秋号

2022年 Vol. 20 〒816-0954 大野城市紫台13-17

中学校給食を求める請願 否決!

食は命の源 小学校のように全ての子どもへ給食を!

9月議会に、「大野城市立中学校における、小学校のような全員制完全給食の実施と、中学校における昼食欠食調査の実施 に関する請願書」が出されました。

請願者は、現役保護者を中心とする「中学校のより良い給食を考える会@大野城」のみなさん。会では、わかりやすい資料を作成し9割の議員と面会し請願の採択を訴えられました。しかし、9月26日の本会議では、賛成1、棄権2、反対16で否決されました。松崎ゆり子は、ただ一人討論を行い(写真)、賛成しました。



★Instagramをいいね♡

★Twitterをフォロー!

★公式LINEに登録!

↑「中学校のより良い給食を考える会@大野城」では、仲間募集や情報発信されています



9月議会 ゆり子の一般質問

妊娠SOS! 望まぬ妊娠の防止を!

相談は 092-580-1978 (市) 092-642-0110 (県)



ゆり子 妊婦の自殺では、妊娠に気が付く2ヵ月目が多い。若年妊娠は、虐待、自殺等のリスクが高いと共に、進路選択が閉ざされる。防止策として、教育により性の自己管理ができると共に、早期に相談し周囲の理解と支援が重要と考える。市の取り組みは

市本市では、子育て世代包括支援センターにて予期せぬ妊娠の相談対応を行っている。妊婦の話を傾聴し状況を把握したうえで必要な情報提供を行い、出産や中絶、養育方法など今後の選択を妊婦自身が意思決定できるように支援をしている。「にんしん SOS ふくおか」の周知は、市のホームページからリンクできるよう検討する。

ゆり子 性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ) 確立への市の決意は

市SDGsの基本目標3「全ての人に健康と福祉を」及び、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」における重要な考え方の一つと認識し、男女が健康で安全な生活を営む上で大切な視点であると考えている。

令和5年度開始予定の第5次男女共同参画基本計画の策定に当たっては、男女共同参画審議会の審議等を踏まえ、適切に検討していきたい。

5 ジェンダー平等を実現しよう



免許証 返納 支援 やっと!

20年4月に遡って申請できます

多くの市民と議員が求めてきた運転免許証自主返納への支援が、スタートします。

内容は、(1)運転経歴証明書発行手数料1100円(全市民)、(2)交通費上限5千円分(70歳以上の方): ①タクシー券、②ニモカカード、③まどか号回数券、④西鉄グラウンドパスから選択できます。

申請は来年2023年1月からの予定です!

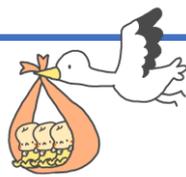
2021年度決算は?

歳入	歳出
市税 13,993,127	民生費 19,383,294
国庫支出金 11,290,233	総務費 7,238,344
県支出金 2,788,405	教育費 2,654,997
市債 2,455,302	公債費 4,490,809
地方交付税 3,702,819	土木費 2,554,565
歳入雑収及び交 3,212,013	衛生費 3,297,525
繰入金 1,823,331	消防費 1,125,114
その他 4,833,975	その他 1,202,781
決算額 437億2,920万円	決算額 419億4,719万円

- 歳入約 437 億 3 千万円
- 市税 140 億、国庫 113 億円等
- 歳出約 419 億 5 千万円
- 民生 194 億、総務費 72 億等
- 約 18 億円の黒字です
- 基金(貯金)残高は、126 億円
- 公共施設整備基金 43 億等
- 市債(借金)残高は、201 億円
- * 15 億円繰り上げ償還
- * 臨時財政対策債 89 億円は後年度地方交付税で措置

(数字は四捨五入)

6月議会 ゆり子の一般質問



- ① 多胎児の育児支援を
- ② 幼児期からの「いのちの安全教育」を
- ③ 小中学校トイレへの生理用品配置を
- ④ 子どもの権利条例の制定を市長に求める

①多胎児育児支援について、多胎児（双子、三つ子など）の育児は、睡眠ができない、健診や通院の外出も困難でとても過酷です。赤ちゃんホームヘルプサービス（生後12週間以内の乳児がいる家庭に対し、30時間を上限にホームヘルパーを派遣する事業）利用の積極的な勧奨と、時間数等の加算を求めました。今後検討するとの答弁で期待しています。また、早期に保育所に入れること（現状は1歳から一時保育が利用可能）、ファミリーサポートの利用料やタクシー代の支援など求めました。

②「いのちの安全教育」について、子どもたちを性暴力の当事者にしないために、国は幼児期から大学まで発達段階に応じた教育を推進しています。本市では、本年度小学校5～6年生、中学校2～3年生を対象に「性の健康と権利に関する教育」を実施中。幼児期では、保育所、幼稚園にて自他の身体を大切にすることを指導されています。

- ③生理用品は、保健室で配布対応。
④子どもの権利条例は、他の施策でカバーしていると2015年と同様の答弁でした。



3月議会 2022年度当初予算は、382億円

- ① 新生児応援給付10万円!(約1.5億円)
- ② ことばの教室中央教室新設(1500万円)
- ③ 中学校制服検討委員会設置(25万円)
- ④ 子宮頸がん個別検診実施(980万円)
- ⑤ 再生可能エネルギー設置補助(2500万円)

↑松崎ゆり子が求めてきた事業の関連予算

●国民健康保険税 増税案に反対(討論)

例えば3人世帯のモデルケースでは年間4万9100円(41万5千円から46万4100円へ)等、増税の為反対

●機構改革条例案に反対(討論)

人権男女共同参画課を市民生活部へ移動に反対



ゆり子の一般質問

① パートナーシップ制度、県実施で実現!

2022年度から「福岡県がパートナーシップ制度を予定、市では県の協力依頼を受けて提供できる行政サービスの検討を行っている」と答弁。同性カップルの市営住宅入居や生活保護や要介護認定の申請も可能となっています。

また「職員は事実婚である場合、育児休暇や介護休暇は、法律婚と同様に制度を利用することができる」と答弁。県では各種休暇や制度も法律婚や事実婚と同様に取得できるとのことです。更に充実を求めます。



② 行政区長の女性参画 市は条例遂行を

「行政区長は、市では区からの推薦内容を踏まえ、総合的に判断した上で行政区長を委嘱している」と、委嘱権は市にあり、女性の参画を推進できるはず。現状は27人中女性は1人、不均等です。条例では、「自治組織における方針決定過程への男女共同参画の推進を図るための支援を行う」としています。

③ 固定的・性差別的な表現をなくすには

「印刷物ガイドライン及びチェックリストを市ホームページへ掲載について検討」と答弁。

④ 政治分野におけるジェンダー平等へ

若い世代の女性たちの人材育成を求め、「内容、日時など工夫していく」と答弁。

12月議会 12月1日～16日 (一般質問は13～14日)

活動報告 ■市政50周年

5月3日 どんたくパレード参加⇒



■ストップ気候変動!世界アクション

9月22日 市役所北公園にて \

■大野城市男女共生講座実行委員

10月6日

まどかぴあ

ソノヨン一直線の

金ソノヨンさん

(西日本文化賞受賞)

が講演されました。



暮らしや労働など ご相談は松崎ゆり子へ。 便り配布などボランティアも募集中!

☎:080-5283-7037 メール:yuri1955@csf.ne.jp ホームページは「松崎ゆり子」で検索
プロフィール 熊本県天草生れ。天草高校、熊本大学卒業、九州大学大学院修了 民間会社15年勤務
NPO法人エンパワメント福岡代表 2015年5月より大野城市議会議員 現在総務政策委員会

